

音読は大切です

読解力は、すべての教科の基本です。数学の文章問題、社会の文章を読む力がないために、問題が解けないという子どもが増えています。読解力を上げるための唯一の方法は、「読む」ことです。読解力を身につけるためには、読書をするのを奨められていると思います。読書することは大事です。読解力が乏しい子どもは、「文章」を読むことが苦手です。音読（おんどく）をさせてみると、読む力の有無はすぐにわかります。音読、つまり、声を出して文章を読ませることです。

- ・文章を区切るところでない場所で区切ってしまう。
- ・よく詰まる。（すらすら読めない。）
- ・どこを読んでいるかわからなくなる。

これは、意味を理解せずに目で文字を追っているだけだからです。

意味を理解しながら読むためには、「音読」が一番です。小学生とくに低学年で、音読の学習をさせているのはこのためです。「音読」は、目と脳だけでなく、口（耳）も使って読みます。五感を使って読むということは、読む力の基礎を養うためにとても有効です。読めない字（文）をいくら読んでも意味はわかりません。音読が不十分な場合は、すらすら読めるようになるまで繰り返し練習しましょう。まずは、ご家庭でも音読してみましょ。

○2月11日は、「建国記念の日」です

2月11日は、日本では「建国記念の日」で祝日です。日本が建国されたことを祝う日です。もちろん、アメリカのカレンダーには記載もなく、ハワイで過ごしていると日本の祝日も忘れがちです。この日は、「建国記念日」ではなく、「建国記念の日」というのは、建国された日ではなく、建国されたことを記念する日であるという考えです。



㊦豆まき（幼稚部）と水習字（小5）の授業について

幼稚部（さくら、もみじ）の子どもたちが、「鬼は外、福は内」のかけ声とともに「豆まき」をしました。また、「書いた人は、先生が写真を撮りますから、言ってください。」、「はい、先生」と小学部5年生の各クラスで水習字の学習をしました。



㊦保護者会定期総会、財団年次総会が開催されます

2月10日に、保護者会定期総会が午前8時45分より9時15分の予定にて、財団年次総会が午前9時15分より10時の予定にて、カフェテリアで開催されます。